

第12回FOST賞受賞者

FOST賞

研究者氏名：菱山 玲子

所属：早稲田大学理工学術院 教授

課題：Gラーニング空間の多言語化による外国人向け老舗企業探索ラリーの開発と実践

授賞理由：現実世界を舞台にリアルなGラーニング空間を想定し、ゲーム性の高いウォークラリーを多言語で提供する試みを通じて外国人向けの教育コンテンツの開発と評価を行った。同時に教室内での展開が中心となっているGラーニング環境が社会的な情報空間と融合する意義を都市活性化、外国人に対する学習効果の両面から考察できるように工夫した。本研究で開発したWebアプリは広くリアルな空間を利用したGラーニングに適用可能な汎用性を備え、新たな社会教育活動を展開している。

FOST新人賞

研究者氏名：福井 昌則

所属：広島大学大学院 工学研究科

課題：数学的ゲーム・パズルを用いたモデリングのスキル向上を目指すプログラミング学習のデザインと実践

授賞理由：高校生の創造的態度とプログラミングの意識に関する調査を行い、その結果に基づき、数学的ゲーム・パズルを用いて、生徒にモデリングを行わせる創造的態度を高めるプログラミング教育の題材を開発し、その題材を用いて実践を行いました。

社会貢献賞

研究者氏名：堀北 哲也

所属：日本大学生物資源科学部獣医学科 教授

授賞理由：みずから開発した『獣医師等を対象としたカードゲーム「やぐら鶴」を用いた緊急時のチームコミュニケーショントレーニングに関する研究』を実施し、即席チームのコミュニケーションの増進とトレーニングの効率的運用のための効果検証を平成28年から平成30年にわたり全国で30回開催した。

また緊急の対応チームが多国籍にわたることを考慮してオーストラリアでも行い、「やぐら鶴」の成果を世界牛病学会や日本薬学教育学会等で発表した。

今後実際に家畜伝染病の防疫作業でこのトレーニングが役立ち、人類の将来に貢献することは素晴らしいことであり、ゲーム的手法の社会的評価を大きく高めるものである。